

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

教育いちかわ



市川市教育振興基本計画

～次のような目標を掲げています～

- 子どもの姿** 自分や他人を大切に、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる
- 家庭・学校・地域の姿** 自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する
- 市川の教育の姿** 教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する

■発行
市川市教育委員会
〒272-8501
市川市八幡1-1-1
TEL 334-1111

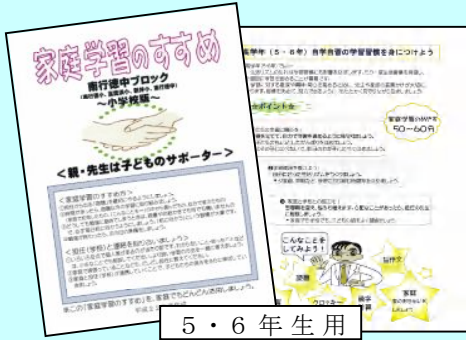
■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335

各中学校ブロックで「学校」や「子どもたち同士」をつなぐ取り組みを展開 子どもたちの学びや育ちの連続性を意識して

市川市教育委員会策定「市川市教育振興基本計画」の基本理念は『人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育』です。この理念の具現化に向けて、各中学校ブロックでは「教育の接続化（幼稚園・小学校・中学校の連携）」が様々な方法で盛んに行われています。ここでは4つの中学校ブロックの取り組みを紹介します。【教育センター】

南行徳中学校ブロック

南行徳中学校ブロック（南行徳小、富美浜小、新井小、南行徳中、南行徳幼）の4校1園では、学習面・生活指導面での連携を深めています。学力・学習状況調査の「家庭学習の時間がやや少ない」という結果をもとに、ブロック共同で『家庭学習のすすめ』というリーフレットを小・中学校別に作成し、夏休み前に各家庭に配付しました。



5・6年生用

各学校では、このリーフレットをもとに重点目標を示したり、強化週間を設定したりするなど、学校の実態に応じて効果的な方法を工夫しながら家庭学習の習慣化を図るための取り組みを実施しています。

子どもたちが家庭学習の重要さに気づき、また保護者や先生方からもその重要性を再確認できたという声が聞かれています。

東国分中学校ブロック

東国分中学校ブロック（国分小・稲越小・曾谷小・東国分中）では陸上部の合同練習を国分高校で行いました(10/6)。4校合同練習には、コーチとして千葉県新人戦で上位に入った選手など、国分高校陸上部の生徒が務めました。



「わきをしめて、腕を直角にして」「もも上げの時、腕もちゃんと振ってね」「跳び方はよかったから、もうちょっと思いっきり走っていいよ」「踏み切りは『バーン』って音が聞こえるように」と、国分高校の生徒から具体的に説得力あるアドバイスを受け、子どもたちのフォームも見られるきれいになるなど、充実した合同練習でした。

大洲中学校ブロック

大洲中学校ブロック（宮田小・大洲小・大洲中）では小・中学校連携の一環として、外国語活動の支援を大洲中夜間学級の英語の先生が行うという試みが行われました。

この取り組みは、全3回シリーズ。大洲中夜間学級の英語の先生がブロック内の小学校に訪問して、小学校高学年を対象に英語に慣れ、英語を楽しむ機会を設けるといいます。



今回は、大洲小学校での授業を取材しました。大洲中学校夜間学級の生徒2名がアシスタントとなり、外国に転校した場合を想定して「照れずに英語で話してみよう!」という活動が行われました。

子どもたちは、楽しみながら英語に触れ、相手との英会話のキャッチボールを楽しみました。

第八中学校ブロック

鶴指小学校の6年生と第八中学校の生徒たちが

英語を通しての交流を行いました(11/15)。

はじめに、市川市英語発表会出場者で部門別第2位に輝いた発表者が披露されました。発表会での衣装をそのまま着用し、堂々とした英語でスピーチが行われました。

その後、授業で行った英語劇を2年生の代表が演じました。

「中学生のお兄さん、お姉さんたちが堂々と発表する姿を見て、安心して中学校に入学してほしい」と、中学校の先生の願いを聞くことができました。



平成22年度 ～市川市教育功労者表彰～

11月12日、平成22年度市川市教育功労者表彰式があり、14名の方が表彰されました。

教育功労は、市川市における教育、学術または文化の振興に関し、特に功績の顕著であった個人または団体を、教育委員会において表彰するものです。

受賞者は、右表の方々です。受賞された皆様、おめでとうございます。

【教育政策課・教育センター】



【受賞者(敬称略)】

秋吉 マツ	市川市立中山小学校 校長
山田 功	市川市立宮久保小学校 校長
外畑 幸一	市川市立福栄中学校 校長
山本 みどり	市川市立大柏小学校 学校医
武内 豊	市川市立南行徳中学校 学校歯科医 市川市歯科医師会議長
島崎 美知子	市川市立稲荷木小学校・稲荷木幼稚園 学校薬剤師 市川市薬剤師会副会長
山崎 八郎	いちかわ童謡の会主宰 社団法人日本童謡協会元理事
品田 穰	前市川市文化財保護審議会委員
小笠原 信夫	前市川市文化財保護審議会委員
伊藤 喜之	前市川市社会教育委員
長谷川 義純	前市川市社会教育委員
幸前 文子	前市川市社会教育委員
落合 進子	前市川市社会教育委員
笹本 瞭	前市川市社会教育委員

— 確かな学力を育む — 学校図書館を有効に活用した授業づくり

市川市では、文部科学省から「学校図書館の有効な活用方法に関する調査研究」(平成21~22年度)の事業委託を受け、子どもたちの確かな学力を育むために、授業での学校図書館活用を積極的に進めています。

これからの子どもたちの「学び」は、自らの興味・関心に基づき、いろいろな情報源に

自ら働きかけていくことが大切です。学校図書館は、「読書センター」、「学習・情報センター」として、子どもたちの主体的な「学び」を支える重要な役割を担っています。

子どもたちの学校生活に深く根を下ろした学校図書館は、研究協力校(中山小、宮田小、鶴指小、大洲小、塩焼小、第七中)をは

じめ、市内全ての学校で日々の学習に活用され、豊かな学習環境を作り出しています。

子どもたちは、自分の課題解決に向けて、図書資料や新聞等を活用し、必要な情報を収集・選択したり、加工したりしながら、自分の考えや意見をまとめています。

【教育センター】

中山小(7/14)~第6学年理科~

「からだのつくりとはたらき」

呼吸のはたらきについて、「吸う空気とはいた空気のちがいを調べる実験」をしました。

子どもたちは、実験結果から「呼吸をする時には体の中でどのようなことが起こっているのだろう」と新たな疑問(探究心)を持って、呼吸のしくみについて調べ学習を進めました。



第七中(11/1)~第1学年社会~

「古代国家の歩みと東アジア世界」

飛鳥・奈良・平安の各時代について、各グループで設定した主題に基づいて、図書資料を使って調べ学習に取り組みました。図書館員の助言も参考にしながら、情報を取捨・選択し、わかったことを自分の言葉でカードにまとめ、模造紙に貼りグループ内で共有しました。



塩焼小(11/2)~第5学年国語~

「課題を見つけて伝え合おう」

新聞やテレビ、日常の話し言葉や町で見聞きした言葉を集め、「慣用句・ことわざ」「敬語」「略字・略語」「方言」など、日本語の特徴について、テーマを選んで調べ、グループごとに発表しました。友だちの発表を聞いて、日本語のおもしろさや不思議さについて自分の考えをさらに深めました。



鶴指小(11/12)~第3学年国語~

「本の世界をつなげよう」

自分が気に入った本を読んで、「読書クイズ」を作りました。「わたしはだれでしょう」「かわっているのはどこ」など、クイズの内容に応じて、必要な情報を本の中から収集・選択して「出題カード」にまとめました。友だちに楽しく本の紹介をしようと、クイズを作りました。



宮田小(11/24)~第4学年国語~

「すじ道を立てて考えよう」

自分で実験したことを題材にして、読み手(友だち)にわかりやすく伝えるために、記録文を書きました。身のまわりの物を使ってできる簡単な科学実験について、説明文で構成を学び、それを生かして記録文に表現し、その楽しさや不思議さを伝えようと、意欲的に取り組みました。



大洲小(11/25)~第4学年国語~

「本の世界を広げよう」

「笑い話」に関する読書発表会をしました。「外国の笑い話のおもしろさ」や「江戸言葉のおもしろさ」など、自分で決めた「テーマ」に沿って読書し、発見したことや感じたこと・考えたことを積極的に交流し合いました。子どもたちは、どの笑い話にも共通するものがあることを感じていました。



国語で社会で理科で
多様な学習活動を展開

研究協力校の
取り組み

<子どもたちの「学び」を支える市川市の学校図書館システム>

市川市では、子どもたちの豊かな「学び」を支援するために、3つの学校図書館ネットワークを整備しています。

1 人のネットワーク

すべての学校図書館に専任職員(学校司書・学校図書館員)がいます。

蔵書管理や配架、図書の貸し出し業務はもちろん、読み聞かせを行ったり、子どもたちの学習ニーズに応じて必要な図書を紹介したり、調べ方のアドバイスをしたり、子どもたちの「学び」をきめ細かく支援しています。

2 物流ネットワーク

公共図書館と学校、学校と学校間で、図書の相互貸借をしています。

子どもたちが、一人一人の課題に応じて、多種多様な図書を十分に活用して学習できるように、公共図書館と学校、学校と学校間で必要な図書を相互貸借しています。相互利用される図書の数は、1年間で約6万冊にも上ります。

3 情報ネットワーク

学校図書館に調べ学習用のパソコン(5台)を設置しています。

多様なメディアを活用して調べることができるように、インターネットに接続されたパソコンを設置しています。学校や公共図書館の蔵書検索もできます。

～保護者のみなさまへ～

子どもについての悩みなどを相談できます。

市川市教育センター ☎320-3336

(火曜～土曜 面談 午前9時～午後5時
電話受付 午前9時～午後5時)

市川市教育委員会指導課 ☎334-1642

(月曜～金曜 午前9時～午後5時)

子ども家庭総合支援センター☎334-1392

(市川市 子育て支援課)
(月曜～金曜 午前9時～午後5時)

市川児童相談所(電話相談)☎370-5286

(月曜～金曜 午前9時～午後5時)

～子どもたちへ～

いろいろな相談を受けています

とも がっこう
友だちや学校のこと、いじめなどの相談ができます。

いかわししょうかん ☎320-3340

市川市少年センター
(月曜～水曜、金曜 午前9時～午後5時
木曜 午前9時～午後7時)

子どもほっとライン☎0120-211-032

(市川市 子育て支援課)
(月曜～金曜、午後9時～午後5時)

ちばけんこ ちばこどもと親のサポートセンター

☎0120-415-446

(休日を含む24時間、相談できます)

チャイルドライン ☎0120-99-7777

(NPO法人チャイルドライン支援センター)
(月曜～土曜、午後4時～午後9時)

※全国統一「24時間いじめ相談ダイヤル」(文部科学省)

☎0570-0-78310 (なやみ言おう)

子どもたちが全国どこからでも、夜間・休日を含めて、いつでもいじめなどの悩みを相談できます。

各競技で練習の成果を発揮！
第28回千葉県特別支援学校高等部スポーツ大会

10月に行われたこの大会で、須和田の丘支援学校高等部はティボールで2年ぶりの優勝、ポッチャではリーグ戦6組で1位となるなど、生徒64名は素晴らしい活躍を見せました。

生徒たちは、大会に向けて6月から毎日厳しい練習を重ねてきました。練習場所を確保するために第二中学校の校庭を借りるなど、決してよい環境で練習することができなかったのですが、それぞれの目標に向かってモチベーションを維持しながら大会当日までがんばりました。

体育担当の先生は、「生徒たちは最後まで集中してプレーしていました。キャプテンは『昨年準優勝だったのでぜひとも優

勝して卒業したかった』という思いで、大きな声で仲間の緊張をほぐしながらがんばっていました。練習の成果を発揮することができてよかったです」と振り返っていました。

【教育センター】



田中教育長・伊藤教育次長に結果を報告しました＝教育長室で

わんぱくセミナー修了式 修了おめでとう 113名の冒険者

市内の小学生125名が参加してくれたわんぱくセミナー。第5回目の11月14日は、思い出クラフト&ファイナルゲーム大会と修了式でした。

市川小学校・八幡小学校・行徳小学校の各会場で、午前中は子ども会の指導者から教わったクラフト飛行機を飛ばし、午後は市川市ジュニアリーダーサークルのメンバーによるゲーム大会で狂喜乱舞していました。そして修了式。

3会場合わせて113名の冒険者たちが見事修了。来年も待っています！

【青少年育成課】



市川会場修了生

充実している市川市の生涯学習への支援
～行徳公民館 優良公民館表彰～



このたび、行徳公民館が、文部科学省より第63回優良公民館表彰を受けました。これは、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められるものを優良公民館として表彰するものです。

④表彰状(コピー)の上には「利用者の皆様、おめでとうございます」の言葉が！
④プルメリア・フラワーアレンジの活動の様子



行徳公民館は平成8年に続き、2回目の表彰になります。行徳公民館では、平成21年度には287のサークル・団体が学習活動

を展開し、参加者数は16万人を超えています。取材した日(11/30)も、たくさんのサークル・団体が来館し、研修室が活気であふれていました。

「市川市には公民館センターを拠点として16の公民館があり、生涯学習を支援する体制が充実しているとともに、市民の方々が地道に生涯学習に励んできた成果が表彰されたのだと思います。利用者があっての表彰です。市民のみなさん、おめでとうございます」と五十嵐館長は語っていました。

【教育センター】

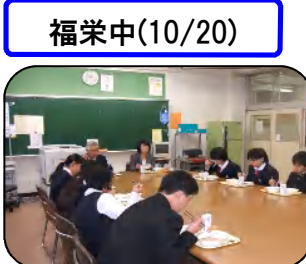
◆◇教育委員と学校の交流会◆◇

初めに6年生の外国語活動を参観しました。授業は「日光プロジェクト 外国人と話そう」(修学旅行で日光へ行った際に、実際に外国人と会話するなどして実践力を高める活動)の振り返りを中心に進められました。



大町小(10/7)

授業のあとは、3グループにわかれて子どもたちとの交流です。「日光プロジェクト 外国人と話そう」を話題の中心にして、子どもたちとの交流はたいへん盛り上がりしていました。



福栄中(10/20)

4校時の授業を参観した後、1・2年生の生徒会本部の生徒たちと給食交流を行いました。「生徒会役員はどうやって決めるの?」「選挙です」「なぜ生徒会役員をやろうと思ったの?」「小学校の時、学校訪問に来た先輩にあこがれて」「福栄中の力になりたいから」などと、子どもたちは、教育委員の質問にはきはきと答えていました。

5校時は葦の渚学級で授業を参観しました。社会福祉大会で発表する『杜子春』の劇の練習です。生徒たちの迫真の演技とその表現力に圧倒されるばかりでした。

6年生の代表2グループとの交流が行われました。



南新浜小(11/19)

「もうすぐ中学生ですが今の心境は?」「少し不安です」「中学校では運動系か文科系、どちらの部に入ろうか迷っています」「将来の夢は何ですか?」「電車が好きなので鉄道会社で働きたいです」

「エジプトが好きなので考古学者になりたいです」など、今考えていることや将来の夢について話し合い、交流は深まりました。

【教育政策課・教育センター】

教育センター

心温まる一日をありがとう **合同学習発表会**

11月20日、市民会館で特別支援学級と特別支援学校の児童生徒による合同学習発表会が行われました。

司会役の児童生徒の絶妙な進行によって幕が開き、それぞれの学級で工夫を凝らした音楽や劇の発表がありました。

色とりどりの衣装を身につけ表情豊かに演じる姿に、会場から手拍子が自然に起きたり、思わず微笑んだりしながら、盛大な拍手が送られました。また、中学生や高等部の生徒が堂々と演じる姿には、会場が感動の渦に包まれました。演技を終えて幕が下りるとき、満足そうに手を振る子どもたちの姿がとても印象的で、心温まる一日でした。【指導課】



-第65回 市川市児童生徒音楽会-

声を合わせ
音を合わせて

第65回市川市児童生徒音楽会が11月4日・5日、市川市文化会館で行われました。市内の小・中学校55校・児童生徒4,432人が参加し、合唱・吹奏楽・管弦楽等で日頃の授業や練習の成果を発表しました。

また、招待演奏では、子どもたちの夢と憧れを喚起してくれる素敵な曲が披露されました。

保護者等入場者も回を重ねるたびに増え、今年度は2日間で2,500人を超え、充実した音楽会になりました。

入場者の方からは、「子どもたちの歌声、演奏は最高でした。声を合わせ、音を合わせることが感動を呼び起こします」「市川の子どものレベルの高さを感じました」「演奏も態度も立派でした」「お手伝いの中学生が親切でした」等、子どもたちの意欲につながる嬉しい感想を数多くいただきました。【指導課】



「食」の大切さを考えよう！-保健体育課 出前授業-

10月16日、第六中学校の2年生を対象に、「食」の大切さを考える保健体育課の出前授業が行われました(「気分ノリノリ(海苔) 病気なしなし(梨)」。)この取り組みは、平成19年度からスタートしました。保健体育課の職員が年間に3校~4校を訪問し、各学校の栄養職員と共同で行ってきています。

第六中学校では、この取り組みとともに、家庭科の時間には、自分で朝食をつくり、そのレシピや作り方を書くことにもチャレンジするなど、様々な面から「食」について考える機会を持っています。【保健体育課】



腹話術をつかった朝食紹介

恒例のソフトテニススクールが11月21日に行われました。第四中学校のソフトテニス部のスタッフ、生徒、保護者そして地元のテニス愛好家の方が地元の小学生を集めて開催しました。

中学生がボールを投げて小学生が打つという練習では、中学生が小学生に丁寧に教える場面が随所にあり、さすが中学生という姿が見られました。

コミュニティクラブ活動訪問 ~第四中学校ブロック~

また手伝いに来た保護者の方も一緒になってコートでボールを追いかけて楽しい一時を過ごしました。

四中のテニス部員の中には、このソフトテニススクールに小学生の時に参加して、テニスに興味を持ち入部した生徒もいるそうです。【地域教育課】



平成22年度こども作品展・新聞展が大盛況のうちに終了しました。本年度は、11月3日から11月7日まで市川市文化会館において開催され、過去最高の1万1,405人の方々が来場されました。



子どもたちの夢や願いが作品に -こども作品展・新聞展-

市内の幼稚園、小・中学校、特別支援学校から出品された作品は、子どもたちの夢や願いがこもった力作ばかりで、多くの方々に楽しんでいただくことができたと思います。来年度も、子どもたちの夢にあふれた素晴らしい作品を、数多く展示したいと思います。来場者の感想をご紹介します。

<子どもたち>

「一人一人に違うおもしろさがありました」

「いろいろな作品がならんでいて、次に作る時の参考になりました」

<大人の方>

「子どもたちが一生懸命に作った作品に感動しました。久しぶりに穏やかな気持ちになりました。『すばらしい』の一言です」【指導課】

はばたけ！未来のリーダーへ ジュニアリーダー講習会修了式

市内の中学生57名が参加してくれたジュニアリーダー講習会もいよいよ最終回。11月28日、メディアパークの研修室にて、午前中は「グループワークトレーニング」、午後は一年間の振り返りと高校生・大学生リーダーの心温まる話を聞き、50名の修了生たちは仲間との別れを惜しみつつ、リーダーとしての夢と希望を胸に巣立っていきました。

「ぼくは、ジュニアリーダーに参加して、最初は『めんどくさいなあ、つまないだろう』と思っていました。しかし、トレーニングキャンプなどに参加して、友だちができて、一緒に協力をしていろいろな物を作ったりするうちに、何か大切なものがここにはあるんでは、ということに気づきました。ここでは、学校の友だちとはできない会話や、生活などを体験できてとても楽しかったです」と受講生の一人は語っていました。【青少年育成課】



友だちとの積極的なかわりを通して 百合台幼稚園

「こんにちは」と、どの子どもも明るい笑顔で迎えてくれた百合台幼稚園の市川市幼児教育研究会指定・公開研究会です(10/27)。

研究主題は「一人一人の子どもの育ちをつなぐ園生活を考える~環境構成と援助のあり方~」です。

子どもたちは、園内の自然環境を活用して、ドングリで作ったネックレス屋さんやドングリを使ったコリントゲーム作り、自分た

ちでとったヨウシュヤマゴボウでジュース作りなどをしていました。園庭ではサッカーやドッジボール、コオリ鬼など、ルールを確認しながら十分に体を動かしていました。

友だちを遊びの輪に誘う子どもの姿や後片付けを協力して行う姿が見られ、どの活動を見ても、積極的に友だちとかかわろうとする姿がすばらしかったです。【教育センター】



百合台ハウスでのジュース作り